



せりがや通信第32号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

薬物乱用の動向

医局 石井竜也

現在、わが国は覚せい剤の第三次乱用期にあるといわれます。終戦後の混乱期に始まる第一次乱用期は、昭和 26 年に覚せい剤取締法が施行されると徐々に沈静化。昭和 45 年には暴力団を背景として第二次乱用期に突入しましたが、取り締まりの強化もあり徐々に減少しています。しかし、平成 7 年頃から再度増加。これが現在までに至る第三次乱用期であり、背景には若年層への蔓延があるようです。国立精神・神経センターが 1995 年～2009 年に行った「薬物使用に関する全国民調査」によると、違法薬物の生涯経験率は 1995 年以降徐々に増加。2001 年をピークにいったん減少したものの再度増加に転じ、2009 年に最大となっており、薬物乱用の蔓延が懸念されます。種類別に見ると有機溶剤、大麻、覚せい剤の順に高いですが、特に大麻の増加が目につきます。薬物乱用者の割合は欧米に比べかなり低いと言えますが、種類別でみると欧米型に近づきつつあることが懸念されます。薬物事犯者数で見ると、有機溶剤、覚せい剤が減少しており、取り締まりの強化が一定の効果を生んでいるようです。しかし、一方で近年では MDMA、マジックマッシュルームが流行しています。ここ最近では脱法ドラッグの中でも特に脱法（合成）ハーブが流行し始めており、その都度対応に追われ、必ずしも検挙者と乱用者数が一致していないようです。取締り強化と共に根本的な解決を探っていく必要がまだまだありそうです。

小林桜児先生の講演「薬物依存症の理解と支援の実際」を聞いて

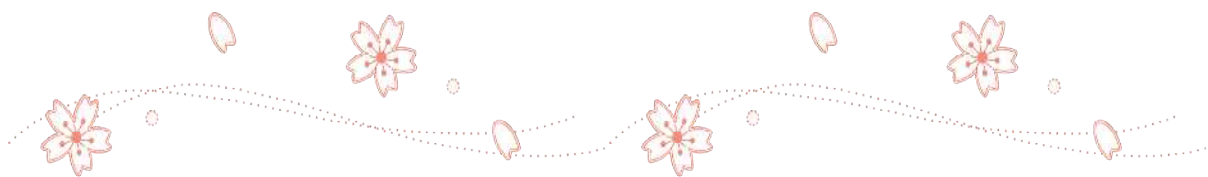
心理・相談科 早坂透

平成 24 年 1 月 27 日（金）にウィリング横浜でせりがや病院の OB である小林桜児先生による講演が行われました。先生の御略歴につきましては紙面の関係上割愛させていただきます。本講演はせりがや病院の職員研修会の一環として開催されましたが、地域の関係機関や他の病院で依存症の治療に携わっている方々にもお出でいただき、70 名の参加者が集まる盛況ぶりでした。

先生は依存症になってしまう心理的な背景として孤独感と無力感に着目していました。そして、依存症の回復とは、一度失われてしまった人への信頼感を取り戻し、薬などの物ではなく、人の力を借りながら自分をケアすることを覚えるプロセスであるとお考えでした。ですから、先生は治療者に必要なことは患者さんを「信じること」と「待つこと」だと強調されていました。たとえ何度再使用しても、患者さんに病院に来ていただき、お会いし続けることで、「薬ではなく人に助けを求めてもいい」というメッセージを伝え続けていきたいということでした。患者さんの小さな成功体験を共に喜ぶ治療者の姿勢をスイミングスクールのコーチにたとえていました。

先生は依存症の治療について、ときおりユーモアを交えながら、わかりやすく丁寧に説明してください。私たちはいつの間にか“桜児ワールド”に引き込まれていきました。先生の患者さんへの愛情に溢れた情熱的な語りに、会場全体が温かい雰囲気でも包まれていたように感じました。講演終了後に参加者の方にご協力いただいたアンケート調査では、講演内容について 97%の方に「大変良かった」もしくは「良かった」と回答いただき、多くの方に満足いただけたようです。

【家族教室のご案内】 当院においては、患者様やご家族のため、アルコール・薬物依存症者の家族教室を開催しています。アルコール並びに薬物依存症の知識や特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。(この家族教室は、当院を受診していない方のご家族も参加できます。)是非、ご参加ください。なお、参加は予約なし・無料です。					
<平成24年度アルコール家族教室のご案内> 第1・3木曜日(祝日を除く)13時半~15時			<平成24年度薬物依存症の家族教室のご案内> 第2・4木曜日(祝日を除く)13時半~15時		
日程	担当	日程	担当	日程	日程
4月5日(木)	B	10月4日(木)	C	4月12日(木)	10月11日(木)
4月19日(木)	A	10月18日(木)	B	4月26日(木)	10月25日(木)
5月17日(木)	B	11月1日(木)	A	5月10日(木)	11月8日(木)
6月7日(木)	C	11月15日(木)	B	5月24日(木)	11月22日(木)
6月21日(木)	B	12月6日(木)	C	6月14日(木)	12月13日(木)
7月5日(木)	A	12月20日(木)	B	6月28日(木)	12月27日(木)
7月19日(木)	B	1月17日(木)	A	7月12日(木)	1月10日(木)
8月2日(木)	C	2月7日(木)	C	7月26日(木)	1月24日(木)
8月16日(木)	B	2月21日(木)	B	8月9日(木)	2月14日(木)
9月6日(木)	A	3月7日(木)	C	8月23日(木)	2月28日(木)
9月20日(木)	B	3月21日(木)	A	9月13日(木)	3月14日(木)
				9月27日(木)	3月28日(木)
<アルコール家族教室特別講座のご案内> 6月、12月予定			<薬物家族教室特別講座のご案内> 6月、10月、12月、2月予定		
ただいま講師の先生の調整中です。調整がつき次第お知らせいたします。					
《担当》 A：医師 B：ソーシャルワーカー・臨床心理士 C：看護師 《テーマ》 当日に発表させていただきます			《担当》 ソーシャルワーカー・臨床心理士 《テーマ》 1：薬物依存症とは 2：家族ができること 3：家族の変化・本人の変化 4：家族の回復		
開催場所：当院2階デイケア室					
家族教室問い合わせ先：せりがや病院 心理・相談科 045-822-0365(内線540)					



<p style="text-align: center;"> 外 来 診 療 (新 患 ・ 再 来) は 予 約 制 です。 予約変更は平日の午後2時~午後4時にご連絡ください : 045(822)0365 電話番号の掛け間違いが大変多くなっています。よくお確かめの上、おかけ下さい。 </p> <p style="text-align: center;"> 〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷2-3-1 http://kanagawa-pho.jp/osirase/byouin/seisin/serigaya/index.html 発行所 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 </p>

編集後記

せりがや通信は年4回発行しています。平成23年度の編集委員は
 平山(栄養管理科),早坂(心理・相談科),木野内・小林・日向(看護局),河内(総務課)の6名でした。

